

松江生活と健康を守る会

第51回定期総会が開催される

2月20日、松江生活と健康を守る会の第51回定期総会が市民活動センターで開催され、板垣治之会長の開会挨拶の後、片寄秀子事務局長が活動総括・方針案を提案、新役員案と共に満場一致で採択されました。片寄事務局長は、提案の中で、「今年度の生活保護新規申請数が約300件なのに対し、コロナ禍の下で社会福祉協議会が窓口の緊急小口資金貸付件数が2,674件、総合支援金貸付件数が1,334件と劇的に増加しており、市民が支援を必要としている実態に見合っていないのではないかと。また、介護保険料滞納者が954人と増加しており、介護サービスの利用制限などのペナルティーが発生する恐れがある」と問題提起しました。



開会挨拶を行う板垣治之会長

提案後の討論では、「お金の心配なく病院にかかれるよう、市立病院こそ無料低額診療に踏み出してほしい」、「国保料のコロナ減免は認められたが、介護保険料でなかなか認められず、異なる対応はおかしいのでは」など、活発な討論が行われました。

市民の願いを届ける市議団の一般質問

2月議会の一般質問は、2月28日から3月2日までの3日間行われました。市議団は以下の項目で質問に立ち、市長・執行部の見解を質しました。9月議会から一般質問の映像配信期間が拡充されています。ぜひご覧いただき、ご意見・ご要望をお寄せください。

急通報装置設置費助成事業



田中はじめ市議会議員



舟木けんじ市議会議員



たちばなふみ市議会議員

- 田中はじめ議員 (2月28日)**
- 1 市長の政治姿勢と日米地位協定の改定を政府に求めること
 - 2 原子力発電
 - 3 新型コロナウイルス感染症対策
 - 4 市民生活支援と福祉タクシー制度の拡充、松江市緊急
- 舟木けんじ議員 (3月2日)**
- 1 学校教育と教員未配置問題、松江市「教職員の働き方改革」
 - 2 市民生活と保育士の配置基準
 - 3 原子力災害避難計画
- たちばなふみ議員 (3月2日)**
- 1 島根原発2号機再稼働問題
 - 2 コロナ禍の保育の確保
 - 3 子ども食堂の支援を
 - 4 子どもの権利を大切に
 - 5 泳げる中海、豊かな中海の復活を

2月定例会市議会(予算議会)が始まる

コロナ対策補正予算、当初予算審査など各市議が論戦

2月22日、2月定例会市議会が招集され、上定昭仁市長が令和4年度の施政方針、及び条例改正案、補正予算案、令和4年度当初予算案等を提案した後、3月24日までの会期を決定しました。

一般質問は、2月28日から3月2日(内容は別項参照)、3日から18日まで委員会審査、24日に意見書案・陳情・請願と共に採決が行われます。

当初提案59件の内、条例改正案が18件、予算案が25件、補正予算専決処分の承認が2件等となっています。

議案提案権を行使

市議団は日米地位協定の改定を求める意見書(案)を提案します。

日米地位協定により、米兵は出国前PCR検査が免除されていたことが明らかになり、市民の命に関わる地位協定の危険性が改めて示される事態となりました。地位協定の抜本的改定、少なくとも出入国に関わる手続き・検疫に関する事項、及び事故・事件の際の国内法の順守に関して緊急に改訂を行うことを政府に求める意見書(案)採択をめぐります。

令和4年度当初予算審査始まる

令和4年度一般会計予算、国保会計等8特別会計予算、水道事業会計等5つの企業会計予算が提案されました。

市議団は、3日の予算総括質疑で上定市長に対し、①予算を組むうえでコロナ禍の教訓をどう生かしたか。具体的には、市民が無料でPCR検査を受けられる検査体制を確保できる予算か、感染判明者や濃厚接触者で自宅待機となつた市民への支援策、まん延防止措置の支援対象外となる業種への支援、②市立病院経営に對するコロナ禍の影響、コロナ以外の一般医療の受診控

市役所の部の新設・変更、消防指揮隊新設などの条例改正が提案される

条例改正案では、文化スポーツ部の新設、環境保全部から環境エネルギー部へ名称変更などの事務分掌条例の一部改正案、消防体制強化のため指揮隊を新設する市職員定数条例の一部改正案等の議案が提案されました。

コロナ対策・特別教室への空調整備等の補正予算を審議

補正予算が1月14日専決処分されました。

陳情採択をめざします

今議会に島根県労働組合総連合から提出された「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書採択を求め陳情」に対しては採択を求め取り組みます。